

山スクール T1 実技⑤ 六甲山で読図練習

2021.10.23 Saturday

講師 引網・田中

生徒 5名

- ルート 阪急・芦屋川駅～鷹尾山 272m～荒地山 549m～ 芦屋ゲート手前～東おたふく山登山口 460m～奥池 = (バス) = 阪急・芦屋川駅
- 生徒が交代で先頭を担当し、進行方向をコンパスでチェックしながら歩行した。歩行前にレイヤード、荒地山の登りで岩登りとフリークライミング、奥池ではツエルトビバーグや救急道具の説明をした。
要所所で講習時間を費やしたので、終了場所を変更した。



芦屋川駅にやって来ましたあ♪

今日は山スクール T1 クラスの講習会で六甲山を歩きます。



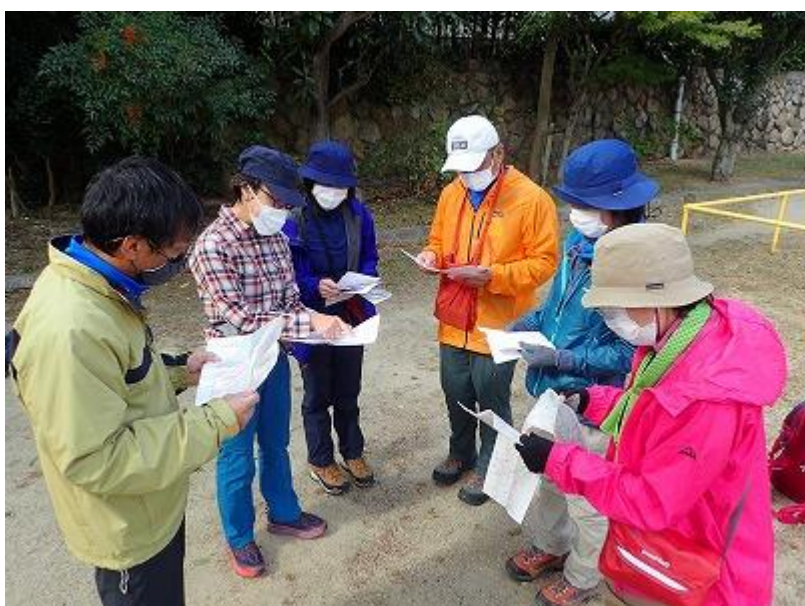
住宅地を進みます。



途中の公園で準備します。



寒くなってきましたのでレイヤードの説明をしました。



ルートの確認をして出発します。



生徒が主体で目的地まで歩きます。



要所で地形図とコンパスをセットします。



鷹尾山への登りです。



基準点とは、地球上の位置や海面からの高さが正確に測定された電子基準点、三角点、水準点等から構成され、地図作成や各種測定の基準となるものです。
これらの基準点は、すべての測定の基礎として、公共測量、地籍測量、地殻変動観測等に使用されます。

また、都市計画、都市基盤整備、電力・ガスの事業計画や管理、観光開発、交通網の整備、環境管理、福祉計画等に必要な地図作成に基準点が使用されます。

1級基準点 = 1 km

2級基準点 = 500 m

3級基準点 = 200 m

4級基準点 = 50 m

以上が標準距離となります。通常設置する基準点の平均距離が標準距離を超えた場合は、その上位等級が採用となります。但し、距離に関しては、作業内容にも左右されるため、計画機関との打ち合わせにより、等級を決定するのが普通です。



植林地帯です。



岩稜帯の斜面にアタックします。



岩梯子を三点支持で登ります。





緊張感をもって進みます📷



振り返ると阪神間の風景、今日は大峰山や友ヶ島まで見渡せました。



鎖場も・・・



梯子もある変化のあるコースです！





クライミングの見学。



賑わう荒地山山頂。



手袋が必要な季節、どちらが適しているでしょうか？



蜘蛛の巣に注意して進みます！



車道を経て・・・



再び登山道へ。地図での現在地確認は欠かせません。





金剛山にもほしい、しっかりとした標識です。



奥池まで歩いて来ました。



ツェルトも体験、重要なアイテムです。



救急道具も説明もありましたよ。



中身の濃い講習会でした。